

## 令和2年度第2次上尾市子どもの読書活動推進計画の実施状況について

### 1 上尾市子どもの読書活動推進計画の背景

上尾市子どもの読書活動推進計画（あげお子ども読書プラン）は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成23年度に策定されました。「読み聞かせのまち あげお」の実現を掲げ、家庭・地域・学校が連携して社会全体で子供の読書活動を推進することを目的とした計画となります。

平成28年度からは、市全体でさらに充実・発展を図るべく、令和2年度までの5年間で計画期間とする第2次上尾市子どもの読書活動推進計画が進行し、令和2年度で最終年を迎えました。

#### ★基本方針

読み聞かせのまち あげお ～生涯を通じて本に親しむ礎を築きます～

- 1 子供が読書に親しむための推進体制の整備
- 2 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実
- 3 子供の読書活動に関する情報提供の充実

### 2 子どもの読書活動支援センター

子どもの読書活動支援センターは、「読み聞かせのまち あげお」の実現に向け、平成24年7月に富士見小学校内に開設されました。家庭、地域、学校と図書館の連携を推進する役割を担っており、上尾で本好きな子供を育てていくために、子供と本の出会いを応援し、生涯を通じて本に親しむ礎を築いていけるよう支援しています。

### 3 主な取組内容と実施状況等

#### (1) 主な取組内容

##### ①家庭との連携

- ・児童・生徒や保護者などからの読書相談
- ・保護者向けの絵本の講座、子供向けの読書イベントの定期開催
- ・読書パスポート、えほんのしろくの利用向上
- ・市内で開催されるおはなし会などの情報を収集し、発信する

##### ②地域との連携

- ・地域の読書普及活動の担い手となる読み聞かせボランティアの育成や派遣

##### ③学校との連携

- ・市内の小学生に配布する読書パスポートの活用推進及び支援
- ・授業の単元にあわせた「調べ学習用セット」の貸出、学校の求めに応じて本を選んで学校に配送
- ・司書教諭や学校図書館支援員に向けて講座や研修の開催
- ・学級文庫用の本「あっぴいぶっくる本」を小・中学校や平方幼稚園、市立保育所間で巡回させ、学校・保育所や学校図書館の充実を図る
- ・読み聞かせ学校応援団に対する読書相談や支援

## (2) 実施状況

別紙の実施状況表のとおり、家庭、地域、学校と図書館と連携するとともに、関係機関と協力し、子供の読書環境を整えています。

### ☆学校図書館支援員と協力「ブックトーク」

令和2年度からの新しい国語の教科書には、1年生から6年生まで図書館についての学びがあり、6年生では、「ブックトークをしよう」という単元があります。そこで支援センターでは、6年生または5年生の授業で学校図書館支援員と支援センター職員が協力して、ブックトークを行うことを企画し、依頼があった瓦葺小学校で実施することができました。

学校図書館支援員とブックトークを実施することで、学校図書館支援員にブックトークのやり方を習得してもらい、授業で子供たちに直接本を紹介するなど、学校と連携することができました。

### ☆「誰かに伝えてみませんか？～友だち・家族へ手紙で伝えよう私の読書～」

昨年度、読書についてのアンケートを小学生、中学生、高校生に行いました。その結果から、中学生になると読書から遠のく傾向が見られました。

そこで、中学生、高校生対象の読書支援として、手紙形式で友だちや家族など、誰かに向けて本を紹介するという企画を実施しました。

「広報あげお」で中学生、高校生に事業への参加を募集する他、中学校の図書委員会に参加を呼びかけ、6校27名の生徒が参加してくれました。

紹介文は、子どもの読書活動支援センターツイッターで発表し、図書館本館にも掲示しました。

同世代の紹介文は、読書離れの傾向がある中・高校生の読書意欲をかきたてるような企画となりました。

第2次あけお子ども読書プラン実施状況表

第1章 子どもが読書に親しむための推進体制の整備

取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
子どもの読書活動支援センターの役割	1 家庭・地域・学校と図書館の連携がスムーズに進むように、コーディネートを行う	① 子どもの本や読書活動についての調査・研究・公表を行う	図書館（子どもの読書活動支援センター）	・今年度末までの家庭・地域・学校の子ども読書プラン進捗状況をまとめた。	引き続き、今年度末までの家庭・地域・学校の子ども読書プラン進捗状況をまとめた。	第2次子どもの読書活動推進計画の進捗状況をまとめた。	子どもの読書活動推進計画の進捗状況をまとめ、子供の本や読書活動についての調査・研究・公表を行う。
		② 学校と図書館のパイプ役を努める		・「読書パスポート」の配布、「あっぱいぶつくるセット本」の巡回、団体貸出等の連携事業を実施した。 ・アッピースマイル学校図書館支援員向けの学校図書館運営に係わる研修を8回実施した。 ・支援センター相談員が、各学校図書室を回り、配架や選書の相談を受けた。 小学校22校 中学校11校	引き続き、「読書パスポート」の配布、「あっぱいぶつくるセット本」の巡回、団体貸出等の連携事業を実施した。 ・アッピースマイル学校図書館支援員向けの学校図書館運営に係わる研修を5回実施した。 ・支援センター相談員が、各学校図書室を回り、配架や選書の相談を受けた。希望校 小学校18校、中学校3校 ・市民、アッピースマイル学校図書館支援員向け講座「本の修理」を企画⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	引き続き、「読書パスポート」の配布、「あっぱいぶつくるセット本」の巡回、団体貸出等の連携事業を実施した。 ・学校図書館支援員向けの学校図書館運営に係わる研修を4回実施した。	学校と学校図書館の充実のための、情報提供や学校図書館支援員への助言を行い、さらなる連携を図る。
		③ 家庭・地域・学校の本や読書活動に関するニーズを収集し、図書館の児童サービスの向上につなげる		・講座・イベント終了時に参加者にアンケート調査を行い、実施してもらいたい講座などの要望を把握し、今後のサービスにつなげる。	・原市公民館図書室の利用者のニーズに応じ、書棚のレイアウト変更をした。 ・原市公民館図書室の選書は調べ学習や学校の学習のニーズにあったものを選んだ。 ・講座・イベント終了時に参加者にアンケート調査を行い、利用者の意向に沿った講座を行うよう検討した。	・原市公民館図書室の絵本について、従来の書名順の配架とは別に利用者のニーズに応じた棚を作り、別置した。 あかちゃん絵本・子育て絵本・大人のための絵本 ・原市公民館図書室に「りんごの棚」を作り、特別なニーズがある子供たち向けの本を収集した。 ・講座・イベント終了時に参加者にアンケート調査を行い、利用者の意向に沿った講座を行うよう検討した。	原市公民館図書室のフロアづくりのノウハウを他館においても、展開していく。
		④ 子どもの本に関するボランティアの紹介と、それを必要とする団体などとの橋渡しをする		・学校朝読書、公民館などの求めに応じ、情報を提供した。	学校朝読書などの求めに応じ、情報を提供した。	・昨年度、読み聞かせボランティア養成講座を受講した2名が、あかちゃんおはなし会、ブックスタートボランティア、中央小学校の読み聞かせボランティアとして活躍している。	本人の適正や希望に応じた活動場所を紹介し、活動の場所を広げる。
	2 <家庭への支援> 子どもや、子どもを取り巻く大人たちに読書の楽しさを普及する	① 本に関する情報を収集・提供する	図書館（子どもの読書活動支援センター）	・保育所・幼稚園の中で絵本を巡回貸出する「えほんあっぱいぶつくる」事業を開始し、この絵本のリストを公開した。 ・「おやこでえほんサロン」や読書相談を受け、子供の年齢にあった本の情報を提供をした。	・保育所・幼稚園の中で絵本を巡回貸出する「えほんあっぱいぶつくる」事業を開始し、この絵本のリストを公開した。 ・講座で講師より提供された本のリストの情報を提供した。 ・「おやこでえほんサロン」や読書相談を受け、子供の年齢にあった本の情報を提供した。	・子供イベント「アマビエ袋」では、利用者のどんな本を選んだらいいのかわからないという意見や図書室で閲覧時間が取れないなどの状況に対応できる企画として、支援センターが対象年齢に合わせた、さまざまな本を2冊選び、袋に入れて貸出をした。 ・中学生・高校生への読書支援、手紙形式で誰かに本の紹介してもらおう「誰かに伝えませんか？友だち・家族へ手紙で伝えよう私の読書」では、中学生にツイッターで本を紹介してもらった。	・本のリスト提供やイベント・講座を行うことは、子供と保護者が本の楽しさを知るうえで有効なため、今後も続けていく。 ・図書館のキャラクターが、絵本を紹介する「絵本のちらし」を定期的に発行し、本を身近に感じてもらう企画とする。
		② 子どもや青少年向け読書イベントを開催する		<支援センター子ども向けイベント> ※学校で行った分、おはなし会を除く 年間 3回 参加者 大人34人、子供58人	<支援センター子ども向けイベント> ※学校で行った分、おはなし会を除く 実施計画 年間 4回 実施回数 年間 3回 参加者 大人15人、子供56人	<支援センター子供向けイベント> ※学校で行った分、おはなし会を除く 実施回数 年間 7回 参加者 大人3人、子供168人	・図書館や本に親んでもらうイベントを行うことは、子供に本を身近なものにする効果があるため、今後も子供が楽しめるイベントを企画していく。 ・勉強や習い事、部活動などに忙しい青少年向けに、フェイスブックやツイッターなどを活用し、来館しなくても参加できるイベントを企画する。
		③ 保護者向け読書講演会や講座を開催する		<支援センター保護者向け事業> 年間 4回 参加者 大人69人	<支援センター保護者向け事業> 年間 3回 参加者 大人52人	<支援センター保護者向け事業> 年間 1回 参加者 大人4人	・大人が、わらべうたや読み聞かせの講座に参加することで、家庭で本を通じて、子供とコミュニケーションを取ることができ、読書の楽しさを普及することができるため、今後も保護者向けにイベントを企画していく。
	3 <地域への支援> 読み聞かせボランティア、家庭児童文庫や子どもの読書活動推進団体を支援し、これらと連携して地域とともに「読み聞かせのまちあげお」を実現させる	① 読み聞かせボランティア養成や資質向上のための講座を開催する	図書館（子どもの読書活動支援センター）	<支援センターボランティア向け事業> 年間 4回 参加者 69人 <学校応援団への支援センター職員の講師派遣> 年間 2回 参加者 24人	<支援センター読み聞かせ募集> 「読み聞かせボランティア募集～小さな子供向けのおはなし会を一緒にやってみませんか～」 参加者 12人 研修 4回 講座受講 3回 <支援センターボランティア向け事業> 年間 3回、参加者 52人 <学校応援団への支援センター職員の講師派遣> 年間 2回、参加者 27人	<支援センターボランティア向け事業> 年間 1回 参加者 大人4人	読み聞かせボランティア養成や資質向上の講座を行うことで、絵本の選び方や読み方など、読み聞かせボランティアに必要な知識と技術を学ぶことができ、地域での読み聞かせボランティア活動に効果が見られるため、今後も継続していく。
		② 読み聞かせボランティアの活動場所を確保する		・ボランティア主催の研修の場所として、富士見小学校開放教室などを開放した。 年間 23回 <ボランティア協力> 支援センターおはなし会 年間 2回 「親子でえほんサロン」	活動場所を確保したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、支援センターおはなし会や「おやこでえほんサロン」で協力していただくことができなかった。	本人の適正や希望に応じた活動場所を紹介し、活動の場所を広げる。	
		③ 読み聞かせボランティアへの本に関するアドバイスを行う		<支援センターのアドバイス事業> ・講座以外で子どもの本に関する相談を受け付けた回数 年間 12回 ・「広報あげお」平成30年5月号に、相談業務のPR記事を掲載した。	<支援センターのアドバイス事業> ・講座以外で子どもの本に関する相談を受け付けた回数 年間 4回 ・「広報あげお」令和元年6月号に、相談業務のPR記事を掲載した。	<支援センターのアドバイス事業> ・「広報あげお」令和2年5月号に、相談業務のPR記事を掲載した。 <読み聞かせボランティア向け本のリスト> 読み聞かせボランティア向けに「教科書に載っている図書一覧」を作成し、提供した。	読み聞かせボランティアが、選書や読み聞かせの仕方を学び、地域での読み聞かせ活動が広げられるように、支援センターのアドバイス事業を行う。
		④ 家庭児童文庫の支援を行う		・平成30年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の3家庭児童文庫に交付した。 文庫活動 シラコバト団地自治会 おひさま文庫 富士見団地自治会児童図書	令和元年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の3家庭児童文庫に交付した。 ・文庫活動 シラコバト団地自治会 おひさま文庫 富士見団地自治会児童図書	令和2年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の3家庭児童文庫に交付した。 <文庫活動> ・シラコバト団地自治会 おひさま文庫 富士見団地自治会児童図書	・家庭児童文庫への補助金へ交付することは、児童文庫の書架の充実につながる。 ・文庫に地域・学校でのおはなし会や図書館まつりなど図書館事業に協力してもらい、子供の読書活動推進につなげる。
		⑤ 子どもの読書活動推進団体への支援を行う		・平成30年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の2団体に交付した。 サイエンスの杜ワンダーワンダー 児童文学朗読会実行委員会	令和元年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の3団体に交付した。 ・サイエンスの杜ワンダーワンダー 児童文学朗読会実行委員会 あげお児童えほん研究会	令和2年度子どもの読書活動推進事業補助金を以下の2団体に交付申請を受け、1団体に交付した。 ・児童文学朗読会実行委員会 ・サイエンスの杜ワンダーワンダー（申請のみ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動ができなかった。）	地域の読書活動推進に効果が見られるため、引き続き、子どもの読書活動推進団体の活動を支援する。

第1章 子どもが読書に親しむための推進体制の整備

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
1	子どもの読書活動支援センターの役割	家庭・地域・学校の連携のコーディネート	<p>&lt;学校への支援&gt; 学校や学校図書館の充実を図り、朝読書や読書タイム、学校の授業で読み聞かせや本の紹介を行う</p>	図書館（子どもの読書活動支援センター）	<p>① あっぴいぶつくるセット本事業の円滑な運営を行う</p> <p>・平成30年度えほんあっぴいぶつくるセット本の活用 幼稚園・保育所 80回 2,400冊 ・平成30年度あっぴいぶつくるセット本の活用 小学校 84回 7,560冊 中学校 44回 1,320冊 合計 128回 8,880冊</p>	<p>・令和元年度えほんあっぴいぶつくるセット本の活用 幼稚園・保育所 80回 2,400冊 ・令和元年度あっぴいぶつくるセット本の活用 小学校 88回 7,920冊 中学校 44回 1,320冊 合計 132回 9,240冊</p>	<p>・令和2年度あっぴいぶつくるセット本の活用 小学校 88回 7,920冊 中学校 44回 1,320冊 合計 132回 9,240冊</p> <p>令和2年度えほんあっぴいぶつくるセット本の活用 幼稚園・保育所 75回 2,250冊</p>	<p>「あっぴいぶつくる本セット本」については、小・中学校で定着し、好評を得ている。今後も引き続き、計画的に買い替えを行い、内容を新しくしながら、事業を円滑に行っていく。</p>
					<p>② アップスマイル学校図書館支援員研修会への講師派遣や助言、講師の紹介</p> <p>・アップスマイル学校図書館支援員向けの学校図書館運営に係る研修を8回実施した。 ・各学校図書室を回り、配架や選書の相談を受けた。 小学校22校 中学校 11校</p>	<p>・アップスマイル学校図書館支援員向けの学校図書館運営に係る研修を5回実施した。 ・各学校図書室を回り、配架や選書の相談を受ける。 希望校 小学校18校 中学校3校</p>	<p>・学校図書館支援員向けの学校図書館運営に係る研修を4回実施した。 ・瓦葺小学校にて学校図書館支援員と協力し、ブックトークを開催</p>	<p>・図書館や本に関する情報を提供し、学校図書館の充実を図るため、今後も研修会に講師を派遣する。 ・子供に本を紹介するため、引き続き、支援センターと学校図書館支援員が協力してブックトークを行う。 ・学校図書館支援員がブックトークを行う力を養う。</p>
					<p>③ 学校主催の読み聞かせボランティア初心者講座などへ講師を派遣する</p> <p>・学校主催の読み聞かせボランティア初心者講座へ講師を派遣した。 2回 中央小学校 1回 参加者 6人 東小学校 1回 参加者 18人</p>	<p>学校主催の読み聞かせボランティア初心者講座への講師派遣 2回 中央小学校 1回 参加者 7人 東小学校 1回 参加者 20人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症防止のため、学校からの講師派遣依頼はなかった。</p>	<p>学校での読み聞かせボランティアの活動が円滑に行われるよう引き続き、学校主催の読み聞かせボランティア初心者講座などへ講師を派遣する。</p>
					<p>④ 学校に出向いての読書イベントを開催する</p> <p>・読書イベントを実施した。 1回 ・「全校おはなし会」を実施した。 芝川小学校 全校児童 560人</p>	<p>読書イベント 1回実施 「全校おはなし会」 芝川小学校 全校児童 560人</p>	<p>・読書イベント 1回 瓦葺小学校にて学校図書館支援員と協力し、ブックトークを開催 6年生 2クラス 74人</p>	<p>学校でのおはなし会やブックトークの開催など、子供の読書推進のためのPR活動を積極的に行う。</p>
2	読書活動の推進(子どもの読書活動に関わる関係各課)	(仮称)子どもの読書活動推進連絡会の開催	図書館、読書活動推進に関わる関係各課で、(仮称)子どもの読書活動推進連絡会を開催する	<p>① 連絡会を開催する ・連絡会の設置 ・子どもの読書活動推進計画の進捗状況の把握</p>	<p>・関係各課の子どもの読書プラン進捗状況の把握を行った。</p>	<p>・連絡会は未設置だが、引き続き関係各課と連携し子どもの読書プラン進捗状況の把握を行った。</p>	<p>・連絡会は未設置 ・子どもの読書活動推進計画の進捗状況の把握を行った。</p>	<p>・読み聞かせボランティア連絡会を開催し、子どもの読書活動推進計画の進捗状況の把握を行う。</p>
3	図書館・学校・学校図書館の連携	(仮称)図書館・学校・学校図書館連絡会の開催	図書館・学校・学校図書館連絡会を開催する	<p>① 連絡会を開催する ・連絡会の設置 ・司書教諭と図書館司書との情報交換 ・学校図書館と図書館との連携</p>	<p>・連絡会は未設置 ・学校図書館支援員に対する研修を行うほか、積極的に学校に出向き相談を行うなど連携を図った。</p>	<p>・連絡会は未設置 ・学校図書館支援員に対する研修を行い、支援員は学校図書館で必要な知識を深めた。</p>	<p>・連絡会は未設置 ・学校図書館支援員に対する研修を行い、学校図書館支援員は学校図書館で必要な知識を深めた。</p>	<p>司書教諭・学校図書館支援員合同研修を行う。</p>
4	読み聞かせボランティア相互の情報交換	(仮称)読み聞かせボランティア連絡会の開催	読み聞かせボランティア連絡会を開催する	<p>① 連絡会を開催する ・連絡会の設置 ・読み聞かせボランティア相互の交流や情報交換 ・スキルアップ</p>	<p>・読み聞かせボランティア会議を開催した。 参加者 6人</p>	<p>読み聞かせボランティア会議を計画した。 ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症防止のため、読み聞かせボランティア連絡会は開催できなかったが、令和2年度の活動についてアンケートを行った。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮しつつ、読み聞かせボランティア同士で意見交換ができるように会議を検討する。</p>
				<p>② 読み聞かせボランティア養成や資質向上のための講座を開催する</p> <p>&lt;支援センターボランティア向け事業&gt; 年間 4回 参加者 69人 &lt;学校応援団への支援センター職員の講師派遣&gt; 年間 2回 参加者 24人</p>	<p>&lt;支援センター読み聞かせ募集&gt; 「読み聞かせボランティア募集～小さな子供向けのおはなし会と一緒にやってみませんか～」 参加者 12人 研修 4回 講座受講 3回 &lt;支援センターボランティア向け事業&gt; 年間 3回 参加者 52人 &lt;学校応援団への支援センター職員の講師派遣&gt; 年間 2回 参加者 27人</p>	<p>&lt;読み聞かせボランティア向け講座&gt; 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数、人数制限をしての開催となった。 講座1回 参加者4人</p> <p>&lt;学校応援団への支援センター職員の講師派遣&gt; 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催なし。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮しつつ、読み聞かせボランティア養成や資質向上のための講座を開催できるように検討する。</p>	
				<p>③ 読み聞かせボランティアの活動場所を確保する</p> <p>・ボランティア主催の研修の場所として、富士見小学校開放教室などを開放した。 年間 23回 &lt;ボランティア協力&gt; 支援センターおはなし会 年間 2回 「親子でえほんサロン」 年間 10回</p>	<p>・ボランティア主催の研修の場所として、富士見小学校開放教室などを開放した。 年間 23回 &lt;ボランティア協力&gt; 支援センターおはなし会 年間 2回 「親子でえほんサロン」 年間 10回</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、支援センターおはなし会「おやこでえほんサロン」は、職員のみで開催した</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止や、読み聞かせボランティアが活動しやすい地域を考慮して、新たな活動場所の確保を検討する。</p>	

第2章 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
図書館	1 図書館の役割	1 豊富な「本」と児童サービスに関する「経験」で「読み聞かせのまち あげお」を支える	① 図書館児童室を居心地の良いフロアにするよう努める。青少年コーナーについては、友人同士など複数で気軽に来館し、滞在を楽しむことができるような仕掛けづくりをする ② 児童書・児童サービスに関する県主催の専門研修(年5回開催)などに積極的に参加し常に職員のスキルアップに努める ③ 良い本を子どもや保護者と結び付けることができるよう努める ④ 図書館や本に興味を持てるように読書相談や読み聞かせ・読書イベントなどを行う ⑤ 学校やほかの教育施設と連携を図り、よりよい読書環境をつくる	図書館	・展示コーナーや掲示物など児童が関心を示すような工夫をし、また児童が入りやすいような声掛けなどした。 ・青少年コーナーも、展示や掲示物は目につきやすく明るい色合いを心がけ、面出し等で手に取りやすい環境づくりを行った。	・展示コーナーや掲示物など児童が関心を示すような工夫をし、また児童が入りやすいような声掛けなどした。 ・青少年コーナーも、展示や掲示物は目につきやすく明るい色合いを心がけ、面出し等で手に取りやすい環境づくりを行った。	・展示コーナーや掲示物など児童が関心を示すような工夫をし、また児童が入りやすいような声掛けなどした。 ・青少年コーナーも、展示や掲示物は目につきやすく明るい色合いを心がけ、面出し等で手に取りやすい環境づくりを行った。	・児童室については、児童が関心を示すようなフロアづくりを心掛けた業務を行うことができています。 ・青少年コーナーについては、展示や掲示物などを明るい色合いを心がける等、手に取りやすい環境づくりをすることができている。
					・埼玉県図書館協会主催の専門研修に出席し、スキルアップに努めた。 【実績】職員2名、非常勤職員1名が全5回に参加	引き続き、埼玉県図書館協会主催の専門研修に出席し、スキルアップに努めた。 【実績】職員2名、非常勤職員1名が全5回に参加	引き続き、埼玉県図書館協会主催の専門研修に出席し、スキルアップに努めた。 【実績】職員2名、非常勤職員1名が全2回に参加 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全5回のところ、3回中止となった。	埼玉県図書館協会が主催する研修に参加することで、児童サービスに従事する職員のスキルアップができた。
					・展示や子どもしつだよりなどテーマを決め、さまざまな本の紹介をした。	引き続き、展示や「子どもしつだより」などテーマを決め、さまざまな本の紹介をした。	引き続き、展示や「子どもしつだより」などテーマを決め、さまざまな本の紹介をした。	展示、「子どもしつだより」などを通じ、さまざまな本を紹介することができた。 展示を工夫することで、あまり貸出されなかった本が貸し出される等、良い本を多く紹介することができた。
					・子ども読書の日に併せた本のクイズ、夏休み期間中の科学遊びや体験図書館員、秋の図書館まつり、クリスマス会等の児童向けのイベントを通じて子ども達に読書のきっかけになるようなイベントを行った。 【実績】参加者 190人	「子ども読書の日」に併せた本のクイズ、夏休み期間中の体験図書館員、秋の図書館まつり、クリスマス会等の児童向けのイベントを通じて子ども達に読書のきっかけになるようなイベントを行った。 【実績】参加者 185人	クリスマス会等の児童向けのイベントを通じて、子供達に読書のきっかけになるような機会を設けた。 【実績】参加者 30人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年行っている本のクイズ、体験図書館員、図書館祭りの児童向けイベントについては、開催できなかった。	「子ども読書の日」に併せた本のクイズ、夏休み期間中の体験図書館員、秋の図書館まつり、クリスマス会等の児童向けのイベントを通じて、子ども達が図書館や本に興味を持つ機会を作ることができている。
					・学校から依頼を受け調べ学習に役立つ本を提供した。 【実績】市内小・中学校延べ30校利用 526冊	引き続き、学校から依頼を受け調べ学習に役立つ本を提供した。 【実績】※令和2年3月末市内小・中学校 延べ20校利用 398冊	引き続き、学校から依頼を受け、調べ学習に役立つ本を提供した。 【実績】※令和3年3月末市内小・中学校 延べ9校利用 303冊	学校へ、調べ学習に役立つ本を提供することにより、児童のよりよい読書環境をつくることができています。
	2 資料の充実	1 子どもが感性を磨き、表現力や想像力を高め、知的欲求を満たすことができる魅力ある蔵書を構築する	① 利用者の需要や児童向け書籍の出版状況を把握して、魅力ある資料をバランスよく収集する ② 子どもの調べものや読書案内に的確に対応できるよう資料収集に努める ③ 電子書籍など新たな資料について研究し、児童室での利用において紙媒体での提供より利点が多い分野について導入を検討する ④ 青少年世代が直面する人生のさまざまな課題について思索を深めたり、さまざまな切り口の読書体験を通して読書の多様性を実感できる資料を充実させる ⑤ 青少年コーナーを公民館図書室にも置き、青少年図書を買・量ともに充実させる	図書館	・最新の出版された本を中心に絵本、読物や調べ学習に役立つ本を収集した。 【実績】3,089冊	最新の出版された本を中心に絵本、読物や調べ学習に役立つ本を収集した。 【実績】※令和2年3月末 2,900冊	最新の出版された本を中心に絵本、読物や調べ学習に役立つ本を収集した。 【実績】※令和3年3月末 4,000冊	情報収集や研究に努め、新しく出版された本の中から、子ども達にとって良い本を収集することができた。
					・最新の出版された本を中心に絵本、読物や調べ学習に役立つ本を収集した。 【実績】3,089冊	最新の出版された本を中心に絵本、読物や調べ学習に役立つ本を収集した。 【実績】※令和2年3月末 2,900冊	最新の出版された本を中心に絵本、読物や調べ学習に役立つ本を収集した。 【実績】※令和3年3月末 4,000冊	最新の調べ学習に役立つ本を購入し、最新の情報を把握できるように、本の入替えをすることができている。
					・(仮)北上尾館の整備に対し電子書籍導入に向け検討したが、整備に至らなかった。	今後検討	今後検討	電子書籍について、令和3年度に予算化されたため、児童室においても今後検討していく。
					・新しく出版された本や、ここ数年で出版された本を中心に、幅広い分野の資料を収集した。 【実績】613冊	新しく出版された本や、ここ数年で出版された本を中心に、幅広い分野の資料を収集した。(令和2年3月末606冊)	新しく出版された本や、ここ数年で出版された本を中心に、幅広い分野の資料を収集した。(令和3年3月末615冊)	新しく出版された本や、ここ数年で出版された本を中心に、幅広い分野の資料を収集することができている。
					・利用の多い分館(大石)の資料の充実を図るため、棚の引き抜き等を行った。 ・利用の少ない分館(平方)から青少年コーナーを引き上げについて検討した。	・利用の多い分館(大石)の資料の充実を図った。 ・公民館図書室の特色を考慮し、蔵書の充実を図る。	・利用の多い分館(大石)の資料の充実を図るため、内容が古く、利用の少ない本を引き抜き、利用されそうな本を購入した。 ・利用の少ない分館(平方)から青少年コーナーを引き上げることについて検討した。	利用の少ない分館の青少年コーナーを引き揚げ、利用の多い分館の青少年コーナーの資料を充実させることにより、より内容の濃い青少年コーナーを作ることができている。
	3 年代別サービス	1 乳幼児向けサービスの向上を図る	① ・妊婦教室などで赤ちゃんの絵本に関する啓発パンフレットを配布する ・ブックスタート事業を継続する ・「あかちゃんおはなし会」を開催する ・東保健センターを会場に、子どもの読書活動支援センターが「おやこでえほんサロン」を開催する	健康増進課	・4か月児健診の会場にて、ブックスタート事業を実施した。 月2回 年間24回	・4か月児健診の会場において、ブックスタート事業を実施(月2回、H31年4月から令和2年2月までの年間22回)した。 ・令和2年3月実施予定の2回は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。	・4か月児健診の会場において、ブックスタート事業を実施(月2回、令和2年4月から令和3年3月までの年間27回)した。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、読み聞かせは中止している。	引き続き、4か月児健診の会場にてブックスタート事業を実施していく。また、コロナ禍でも実施可能な方法の検討をしていく。
					・ブックスタート事業として4か月検診の際、絵本2冊と赤ちゃん向けのブックリストを配布した。 ・あかちゃんおはなし会を月1回実施した。 【実績】ブックスタート参加者 1,412人 あかちゃんおはなし会参加者 366人	引き続き、ブックスタート事業として4か月検診の際、絵本2冊と赤ちゃん向けのブックリストを渡した。またあかちゃんおはなし会を月1回実施した。 【実績】※令和2年3月末ブックスタート参加者 1,374人 あかちゃんおはなし会参加者 268人	引き続き、ブックスタート事業として4か月検診の際、絵本2冊と赤ちゃん向けのブックリストを渡した。またあかちゃんおはなし会を10月から12月にかけて、月1回実施した。 【実績】※令和3年3月末ブックスタート参加者 1,521人 あかちゃんおはなし会参加者100人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ブックスタート時の読み聞かせは中止とした。	ブックスタート事業として、4か月検診の際、絵本2冊と赤ちゃん向けのブックリストを渡した。ブックスタートにて図書館イベントの紹介をすることで、あかちゃんおはなし会へも引き続き参加していただけた。
	2 幼児・小学生向けサービスの向上を図る	① 市内各館(室)で未就学児から小学生を対象とした「えほんのじかん」「おはなし会」を開催する ② 子どもたち一人ひとりを本と結びつけるために、図書館職員がフロアワークやブックトークを行う	図書館	・市内全館で実施した。 【実績】おはなし会参加者 1,776人 えほんの時間参加者 934人	引き続き、市内全館で実施した。 【実績】※令和2年3月末おはなし会参加者 1,444人 えほんの時間参加者 537人	今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おはなし会は全て中止、えほんのじかんは10月から12月にかけて、月1回のみ実施した。 【実績】※令和3年3月末えほんのじかん参加者 33人	平成31年度までは市内全館で「えほんのじかん」「おはなし会」を実施することができた。 令和2年度においては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月から12月まで実施した本館における「えほんのじかん」以外中止となった。	
				・展示やイベントを通じて本の紹介を行った。 ・本にまつわるクイズやクリスマス会などのイベントを行った。 【実績】展示回数 5回 イベント回数 2回	引き続き、展示やイベントを通じて本の紹介を行った。また本にまつわるクイズやクリスマス会などのイベントを行った。 【実績】※令和2年3月末展示回数 5回 イベント回数 2回	引き続き、展示やイベントを通じて本の紹介を行った。 【実績】※令和3年3月末展示回数 5回 イベント回数 1回	展示やイベントを通じて、本の紹介を行うことができた。	

第2章 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性		
1	図書館	3	年代別サービス	3	青少年向けサービスの向上を図る	① 学校に向いて直接生徒に本の魅力を伝える、ブックトークの充実や多様な参画の形態を工夫した青少年向けの取組を実施する	・ブックトークや青少年向けイベントは未実施。	ブックトークや青少年向けイベントは未実施	ブックトークや青少年向けイベントは未実施	・ブックトークや青少年向けイベントは実施できなかったが、今後検討をすすめていく。 ・支援センターの青少年向けイベント「誰かに伝えませんか？友達・家族へ手紙で伝えよう私の読書」に協力した。今後も支援センターと協力し、ブックトークや青少年向けイベントを行っていく。
						② 中学生の社会体験事業や、高校生のインターンシップの受入を実施し、図書館に対する意識を高めてもらう	・中学生の社会体験事業の受入を行った。 【実績】 2回 6人	中学生の社会体験事業(3回7名)の受入を行った。	今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年受け入れている中学生の社会体験事業が行われなかった。	中学生の社会体験事業や高校生のインターンシップの受入を実施していく。
						③ 中高生が主体的にかつ双方向のコミュニケーションを図れるような情報紙づくりや読書に関わるイベントを企画運営、参加できる仕組みをつくる	・本館青少年コーナーの投稿箱に投稿されたおすすめ本の紹介文を展示した。	・本館青少年コーナーの投稿箱に投稿されたおすすめ本の紹介文を展示した。	本館青少年コーナーの投稿箱に投稿されたおすすめ本の紹介文を展示した。	本館青少年コーナーの投稿箱に投稿されたおすすめ本の紹介文を展示するとともに、購入についても検討する。
						④ 市内小・中学校と図書館をオンラインで結び、生徒が学校で市立図書館の本の予約・貸し出しなどができるようにするなどを検討する	・検討中。	今後検討	今後検討	今後検討することとする。
4	図書館利用に障害のある子どもへのサービス	1	図書館利用にどのような障害をもつかを把握しニーズに対応した適切な支援を行う	① 障害児や保護者、教員が必要とする資料や機器を収集・整備し、活用を図る	・障害のある子どもやその保護者、教員が必要とする資料を収集した。 【実績】 購入資料数 9冊	障害のある子どもやその保護者、教員が必要とする資料を収集した。 【実績】 購入資料数 21冊	障害のある子供やその保護者、教員が必要とする資料を収集した。 【実績】※令和3年3月末 購入資料数 8冊	障害のある子供やその保護者、教員が必要とする資料を意識して収集していく。		
				② 日本語を母語としない子どもたちの状況とニーズを把握、外国語の図書資料などの収集に努める	・外国語が母語となる利用者に対応できるよう、絵でみてわかる日本の生活習慣に関する本の購入に努めた。 【実績】 購入資料数 5冊	外国語が併記されている絵本、知識の本の購入に努めた。 【実績】 購入資料数 21冊	外国語が併記されている絵本、知識の本の購入に努めた。 【実績】※令和3年3月末 購入資料数 14冊	外国語が併記されている絵本、知識の本を意識して購入していく。		
2	家族	1	乳児期	1	優しくたくさん語りかけ、一緒に絵本やわらべうたを楽しむ	① ・ブックスタート事業で配布されたブックリストや「えほんのきらく」などを参考に、親子で本に親しむ ・「あかちゃんおはなし会」や「おやこでえほんサロン」に参加する	・ブックスタートをきっかけに0歳児から絵本を楽しむことができることに気づき、あかちゃんおはなし会やおやこでえほんサロンでは親子でわらべうたや絵本を楽しんだ。 【実績】 あかちゃんおはなし会参加者 大人184人 子供 182人 おやこでえほんサロン参加者 大人120人 子供122人	・ブックスタートをきっかけに0歳児から絵本を楽しむことができることに気づき、あかちゃんおはなし会やおやこでえほんサロンでは親子でわらべうたや絵本を楽しんだ。 【実績】 あかちゃんおはなし会参加者 大人131人 子供 137人 おやこでえほんサロン参加者 大人52人 子供55人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「あかちゃんおはなし会」「おやこでえほんサロン」は、回数、人数を制限しての開催となった。 【実績】 あかちゃんおはなし会 3回 参加者100人 おやこでえほんサロン 1回 参加者 6人	新型コロナウイルス感染状況を踏まえつつ、可能な限り参加していく。
						① 多くの絵本を読み聞かせる図書館の読み聞かせなどに参加する	・「えほんのじかん」「おはなし会」などに参加して、集団でおはなしを聞く楽しさを味わう 【実績】 「えほんのじかん」開催数 121回 参加者 933人 「おはなし会」開催数 335回 参加者 2,265人	「あかちゃんおはなし会」や「おやこでえほんサロン」に参加していた子供たちが成長し、「えほんのじかん」や「おはなし会」に参加できるようになり、少し長い絵本を聞くことができた。 【実績】 「えほんのじかん」参加者 537人 「おはなし会」参加者 1,444人	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「えほんのじかん」「おはなし会」は、回数、人数を制限しての開催となった。 【実績】 「えほんのじかん」3回 参加者33人 おはなし会 実施なし	新型コロナウイルス感染状況を踏まえつつ、可能な限り参加していく。
						① 「読書パスポート」を通して、本について親子で話す時間を作る ・図書館や学校で発行する「本の紹介」などを利用してさまざまな本に出会う	・自分で好きな本を選び、本を読む楽しさを知る。 【実績】 読書パスポート配布数 1,825人(新1年生)	自分で好きな本を選び、本を読む楽しさを知る。友人との会話の中で人気の本を知り、自分も読んでみたいと思うようになり、学校図書館や図書館で借りた。 【実績】 読書パスポート配布数 1,746人(新1年生)	・読書パスポートを子供と保護者で活用し、本に親しんだ。 ・友達と本について会話し、自らの読書につなげた。 【実績】 読書パスポート配布数 1,832人(新1年生)	読書パスポートを家庭でも活用し、本に関する会話の場を設けていく。
2	家庭	4	青年期	1	「いつでもどこでも本が手に取れる」環境づくりを進める	① ・読書活動を通じた子どもの成長を温かく見守る ・大人も読書に積極的に親しむ姿を見せる	・様々な興味が広がる時期であり、本と関わりが希薄になりがちな中学生・高校生を念頭に、大人も子供も楽しめる棚づくりを検討した。	中学生は「あっぱいぶっくるセット本」で本を読める環境づくりを行った。しかし中学生・高校生は、さまざまな興味が広がる時期である事や進学などで、読書への関心が低い状況のままである。	読書アンケートでは、中学生・高校生は、「本を読むことは好きだが、さまざまな興味が広がる時期である事や、進学などで、読書の時間が取れない状況である」と回答している。	乳幼児期、小学生期に読書習慣が身に付いていれば、青年期に読書から離れても、また読書を再開することが期待できる。そのため、身近に本がある環境づくりを行う。
						① 幼稚園・保育所・子育て支援センター内の図書冊数、内容の充実を図る	・保育所毎に定期的に絵本の見直しを行い、内容の充実を図った。	保育所毎に定期的に絵本の見直しを行い、内容の充実を図った。	保育所毎に定期的に絵本の見直しを行い、内容の充実を図った。	保育所の絵本と併せて、あっぱいぶっくる本を活用し、様々な絵本に出会える機会を作っていく。
1	市立幼稚園・市立保育所・子育て支援センターの図書の充実を図る	1	①	①	・物語を中心に新たな絵本を購入し、内容の充実を図った。	・貸し出し頻度の高い絵本の増冊及び関連シリーズの絵本を新規購入し、冊数、内容の充実を図った。	・絵本の増冊(72冊)を行った。	・図書冊数や内容については充実している。今後は新しい絵本の情報収集に努め、必要に応じ絵本を購入し、読み聞かせをしていく		
									② 図書館の団体貸出・あっぱいぶっくる本、図書のリサイクルを活用し、図書の充実を図る	・あっぱいぶっくる本の活用と定着に共同で取り組み、様々な絵本に触れる機会を作った。
1	市立幼稚園・市立保育所・子育て支援センターの図書の充実を図る	1	②	②	・あっぱいぶっくる本の活用と定着に共同で取り組み、様々な絵本に触れる機会を作った。	・あっぱいぶっくる本の活用と定着に共同で取り組み、様々な絵本に触れる機会を作った。	・貸し出しや閲覧が自由にできる教室の絵本を季節ごとに入れ替えたり、様々な絵本に目を向けられるよう、頻りに陳列を変えたりするなどして、貸し出し図書の充実を図った。	・貸し出しや閲覧が自由にできる教室の絵本を季節ごとに入れ替えたり、様々な絵本に目を向けられるよう、頻りに陳列を変えたりするなどして、貸し出し図書の充実を図った。	・機会を捉えて保護者にもおすすめ絵本の読み聞かせをし、絵本の素晴らしさを知ってもらったり、興味をもってもらうたりする	

第2章 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
3 地域	1 幼稚園・保育所・子育て支援センター	2 子どもが絵本に親しむ環境をつくる	① 日々の保育の中でさらに、絵本の読み聞かせを組み込む	子育て支援センター	・月2回絵本・紙芝居・パネルシアター等を楽しむ講座「みんなのおはなし」を開催した。 ・火曜日を除く開館日の夕方に絵本等の読み聞かせを実施した。	・月2回絵本・紙芝居・パネルシアター等を楽しむ講座「みんなのおはなし」を開催 ・火曜日を除く開館日の夕方に絵本等の読み聞かせを実施	・月2回絵本・紙芝居・パネルシアター等を楽しむ講座「みんなのおはなし」を開催 ・年齢別に開催する「ひろば」にあわせるなど、状況に応じて読み聞かせを実施	継続して実施する予定
				保育所	・落ち着いた環境の中で、絵本に親しんでもらえるよう、場所や時間など工夫して、取り組んだ。	落ち着いた環境の中で、絵本に親しんでもらえるよう、場所や時間など工夫して、取り組んだ。	落ち着いた環境の中で、絵本に親しんでもらえるよう、場所や時間など工夫して、取り組んだ。	絵本に親しんでもらえるよう、今後も工夫して取り組んでいく。
				幼稚園	・毎日、降園時に紙芝居や絵本の時間をもった。また、自ら絵本を読んだり、見たりできるコーナーを各教室に設定した。	童話や昔話の他、季節・行事など幼児の興味に即した絵本や紙芝居を扱い、様々なジャンルの話に親しめるようにした。	・日々の絵本の読み聞かせの他、エプロンシアターや紙芝居、視聴覚教材を活用し、話の世界に親しめる機会をもった。	・日々の読み聞かせや、幼児の興味に即した絵本(季節・行事など)の入替を継続する。 ・パネルシアターやペープサートなどを積極的に活用していく。
				子育て支援センター	・年2回、子どもの読書活動支援センターに依頼し、みんなのおはなしに参加協力によるコラボレーションを実施した。	・年2回、子どもの読書活動支援センターに協力を依頼し、「みんなのおはなし」でのコラボレーションを実施 (第2回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	・年2回、子どもの読書活動支援センターに協力を依頼し、「みんなのおはなし」でのコラボレーションを実施 (第2回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	継続して実施する予定
				図書館(子どもの読書活動)	・子育て支援センター・あっぱいぶつくるコラボ事業みんなのおはなしwith子どもの読書活動支援センターを開催した。 【実績】 開催 年間 2回 参加者 大人34人 子ども37人	子育て支援センター・あっぱいぶつくるコラボ事業「みんなのおはなし with 子どもの読書活動支援センター」の開催 年間1回 参加者大人10人子ども10人 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止)	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止から、子育て支援センター・あっぱいぶつくるコラボ事業「みんなのおはなし with 子どもの読書活動支援センター」を開催できなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して、読み聞かせの会など、を進めていく。
				保育所	・保育所ごとにボランティアによる、素話や読み聞かせの会を企画した。	・保育所毎にボランティアによる、読み聞かせの会を企画し、子どもたちにとって良い経験となった。	今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止から、行う事が出来なかった。	新型コロナウイルス感染症の状況により、読み聞かせの会など、感染予防に努め開催方法など工夫を進めていく。
				幼稚園	・保護者や小学生、小学校の司書教諭による絵本の読み聞かせを行った。 ・劇団員による人形劇や職員による劇を実施した。	劇団員や職員による劇の実施をした。	・劇団員による劇の実施をした。	・小学生による読み聞かせ交流を充実させていく
				子育て支援センター	・希望する利用者に絵本の貸し出しを随時実施した。 ・適宜、絵本の読み聞かせの重要性を啓発した。	・随時、希望する利用者に絵本の貸し出しを実施 ・適宜、絵本の読み聞かせの重要性を啓発 ・利用者のニーズにあった絵本の紹介・選定	・適宜、絵本の読み聞かせの重要性を啓発 ・利用者のニーズにあった絵本の紹介・選定	交流室内に新たに絵本の紹介コーナーを開設し、今後の絵本等の啓発に活用していく予定
				図書館(子どもの読書活動)	・保育所にある「えほんあっぱいぶつくる本」を通じて、本をあまり読む習慣のない保護者が、本に興味を持ち、親子で本を楽しむ機会を作れるよう図った。	本をあまり読む習慣がない保護者が、保育所にある「えほんあっぱいぶつくる本」を読むことによって、親が本に興味を持ち、親子で本を楽しむ事や家読ができる環境を作った。	・保育所にある「えほんあっぱいぶつくるセット本」を通じて、本をあまり読む習慣のない保護者が、本に興味を持ち、親子で本を楽しむ機会を作れるよう図った。	乳幼児期に保護者が子供に読み聞かせをすることは、言葉を覚えるだけではなく、安心感や親密感を高める効果が期待でき、今後の読書習慣の形成に効果的なため、保護者への絵本の啓発活動を行っていく。
				保育所	・保育室内に絵本の紹介コーナーを作り、お勤めの絵本を飾るなど、保育所ごとに保護者に関心を持ってもらえるように工夫した。 ・あっぱいぶつくる本の貸し出し環境を整え、子どもたちの楽しみにつなげた。	・保育室内に絵本の紹介コーナーを作り、お勤めの絵本を飾るなど、保育所ごとに保護者に関心を持ってもらえるように工夫している。 ・あっぱいぶつくる本の貸し出しも好評で、楽しみにしている様子がある。	保育室内に絵本の紹介コーナーを作り、お勤めの絵本を飾るなど、保育所ごとに保護者に関心を持ってもらえるように工夫している。 コロナ禍で、感染症拡大防止から絵本の貸し出しを中止している。	コロナ禍での、あっぱいぶつくる本や保育所の絵本等親子で楽しめるよう貸し出しの方法など工夫していく。
幼稚園	絵本貸し出しができる教室を保護者に開放した。また、新しく入った本を紹介する手紙を配布し、絵本の読み聞かせの啓発を行った。	懇談会で、乳幼児期の読み聞かせの重要性についての内容を組み込み、啓発を行った。	・季節や行事、幼児の興味に即した絵本の紹介や、読み聞かせをした絵本を紹介し、保護者の興味関心につなげていく。 ・親子に読み聞かせをする機会をもち、絵本の大切さや楽しさを伝えていく。					

第2章 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
3 地域	2 児童館・放課後児童クラブ	1 乳幼児～小学生を対象とした魅力あるおはなし会を行う	① 青少年育成推進員や読み聞かせの団体などと協力し、読み聞かせやおはなし会などの事業を推進していく。 ・おはなし会に来た子には、「えほんのきろく」や「読書パスポート」にスタンプを押す	児童館	・アッピーランドとこどもの城では、青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・アッピーランドではおひさま文庫によるおはなし会こどもの城では読み語りの城を実施した。	・アッピーランドとこどもの城では、青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・アッピーランドではおひさま文庫によるおはなし会、こどもの城では読み語りの城を実施した。	・こどもの城では青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・こどもの城では「読み語りの城」を実施した。	・引き続き、青少年育成推進員によるおはなし会を実施する。 ・引き続き、児童館の事業としておはなし会を実施する。
		2 子どもが読書に親しむ環境をつくる	① 日々の生活や遊びの中に、本を読む時間、読み聞かせの時間を設ける  ② 図書館の団体貸出・図書のリサイクルなども活用し、さらなる図書の充実を図る	放課後児童クラブ	・日ごろの保育の中で読書を実施した。 ・いくつかのクラブで読み聞かせを実施した。  ・図書リサイクルへ参加した。 ・いくつかのクラブで団体貸出を利用した。	・日ごろの保育の中で読書を実施 ・いくつかのクラブにて読み聞かせを実施  ・図書リサイクルへ参加した。 ・いくつかのクラブにて団体貸出を利用した。	・日ごろの保育の中で読書を実施した。 ・いくつかのクラブで読み聞かせを実施した。  ・図書リサイクルへ参加した。 ・いくつかのクラブで団体貸出を利用した。	引き続き、保育の中に読書の時間や読み聞かせを取り入れ、子供たちが図書に触れる機会を増やす。  ・引き続き、図書リサイクルへの参加と団体貸出の利用により、各クラブの図書の充実を図る。
	3 児童文庫・自治会・読み聞かせボランティア	1 図書館と連携し、さらなる図書の充実を図る	① 子どもの読書活動推進事業費補助金の交付を受けたり、図書館の団体貸出・図書のリサイクルなども活用し、さらなる図書の充実、活動の充実を図る	自治会  児童文庫	・子どもの読書活動推進事業費補助金の交付した。 ・小泉地区(小泉サロン)にて、年齢ごとに読み聞かせ本の紹介、読み聞かせ(2冊 0・1・2・3歳対象)を実施した。  【おひさま文庫】 ・開館日時 月曜日・木曜日 15時～18時 土曜日(月1回) 11時～12時 ・文庫でのおはなし会(育児サークルなど) ・文庫開館(図書貸出、返却、遊び相手など) ・出前おはなし会、読み聞かせ、人形劇 他 上平小、上平北小、原市小、アッピーランド 等多数 【富士見団地自治会児童図書】 ・開館日時 第一、第三土曜日 13時～15時 ・読書の啓蒙活動 ・図書購入・貸出	・子どもの読書活動推進事業費補助金の交付した。 【しらこぼと団地自治会】 月・水・木・土曜日 15時30分～17時30分 年4回季節のイベント (桃の節句、端午の節句、7月七夕、12月クリスマス)の飾り付けを実施  【おひさま文庫】 ・開館日時 月曜日・木曜日 15時～18時 土曜日(月1回) 11時～12時 ・文庫でのおはなし会(育児サークルなど) ・文庫開館(図書貸出、返却、遊び相手など) ・出前おはなし会、読み聞かせ、人形劇 他 上平小、上平北小、原市小、アッピーランド 等多数 【富士見団地自治会児童図書】 ・開館日時 第一、第三土曜日 13時～15時 ・読書の啓蒙活動 ・図書購入・貸出	・子どもの読書活動推進事業費補助金の交付を受けた 【しらこぼと団地自治会】 月・水・木・土曜日 15時30分～17時30分 図書購入、本の点検、修理、寄贈本の受取り 3月おひな様飾り、5月子供の日お飾り、7月七夕、12月クリスマス の飾り付け を実施  ・子どもの読書活動推進事業費補助金の交付を受けた 【おひさま文庫】 ・開館日時 月曜日・木曜日 15時～18時 土曜日(第3のみ) 11時～12時 ・文庫でのおはなし会(育児サークルなど) ・文庫開館(図書貸出、返却など) ・小学校 読み聞かせ 上平小、上平北小、原市小 9月より 各種イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止になったものがあつた 【富士見団地自治会児童図書】 ・開館日時 第一、第三土曜日 13時～15時 ・読書の啓蒙活動・図書購入・貸出 富士見団地自治会ホームページで貸出状況が分かるように 蔵書のデータ入力をした	子どもの読書活動推進事業費補助金の交付や図書館団体貸出・図書のリサイクルなどを活用して図書の充実を図る  子どもの読書活動推進事業費補助金の交付や図書館団体貸出・図書のリサイクルなどを活用して図書の充実を図る。
3 地域	3 児童文庫・自治会・読み聞かせボランティア	2 子どもたちとよい本を結びつける橋渡しとなる	① 子どもたちにより本を紹介する ・おはなし会に来た子には、「えほんのきろく」や「読書パスポート」にスタンプを押す  ② 図書館主催のステップアップ講座などに参加するなどして日々研さんを重ね、資質向上につとめる	読み聞かせボランティア	・子供たちにより本を紹介した。 ・おはなし会に来た子供に「えほんのきろく」「読書パスポート」にスタンプを押した。  ・子どもの読書活動支援センターの講座等に各自参加した。 参加者69人 ・グループで月1回の定例会で研さんにつとめた。	引き続き、 ・子供たちにより本を紹介し、子供が読書を楽しめる環境を作った。 ・おはなし会に来た子供に「えほんのきろく」「読書パスポート」にスタンプを押した。スタンプを集めることで楽しみを増やした。  ・子どもの読書活動支援センターの講座等に各自参加した。 参加者52人 ・グループで月1回の定例会で研さんにつとめた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おはなし会・おやこでえほんサロンなどが中止になったため、活動ができなかった。  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座の参加や研修など参加が困難だった。	新型コロナウイルス感染症の状況により、ボランティアと利用者の安全の確保のため、どのようにおはなし会などの開催するのかを図書館側と検討をする。  今までに研修場所として使用していた富士見小学校の集会室が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、使用が難しい。グループの研修場所の確保の為、図書館本館集会室など、子どもの読書活動支援センターと協議する。
1	1 学校の役割	1 学校図書館教育全体計画・年間指導計画の作成・充実を図る	① 学校図書館教育全体計画・年間指導計画の作成・内容の充実を図り、授業などでの学校図書館の活用を位置づける	学校	・各小・中学校の教育課程において、学校図書館教育全体計画・年間指導計画を各校で作成し、各教科の指導計画との関連を検討した。	各小・中学校の教育課程において、学校図書館教育全体計画及び年間指導計画を作成し、各教科の指導計画との関連を明らかにした。	各小・中学校の教育課程において、学校図書館教育と各教科の指導計画との関連を明らかにしている。また、小学校では、新たに、国語科の年間指導計画において、系統性を明らかにして、学校図書館の活用を位置付けた。	国語科以外の各教科等でも、単元と関連付けて、計画的な活用を促すとともに、学校図書館教育の推進を図る。
		2 新聞を活用した授業実践の充実を図る	① 司書教諭など研修会を通じて学校図書館に毎日配架されている新聞を活用した授業実践を取り上げ、情報交換を行い、各校での実践に生かせるようにする	学校	・埼玉中央よみうりで、新聞や閲覧台を活用している上尾市内の各小学校の取組の様子を紹介する記事が掲載された。	新聞や閲覧台を活用して児童生徒に新聞を閲覧させる取組が行われた。各校の工夫により、新聞クイズや興味がある記事に付箋を貼るなどの取組について研修会で共有した。	より身近に新聞を感じられるように、図書館以外の場所に新聞を掲示するなど、各校の工夫により、児童生徒に新聞を閲覧させる取組が行われている。	研修会等を通じて、実践事例を共有し、効果的な取組が各校で実施できるようにする。
	1 「学校図書館図書標準」の早期達成をめざす	① 司書教諭、アピースマイル学校図書館支援員が中心となり、計画的に図書資料の整備、更新、充実を図る ・学校図書室のスペース拡張の検討、書架の購入	学校  教育総務課	・計画的に図書の購入等を行った。 ・各校の工夫により、書架の並び替えや配架の変更を行った。  ・小学校4校、中学校8校に書架を購入した。	計画的に図書の購入等を行うことができた。各校の工夫により、第二図書室の整備、書架の並び替えや配架の変更を行うことができた。  小学校3校、中学校3校に書架を購入した	図書の廃棄を適切に行うとともに、計画的に図書の購入を行った。「学校図書館図書標準」の達成状況は、小学校約60%、中学校約55%である。  ・図書資料の整備、更新、充実を計画的に行っている。 ・小学校3校、中学校3校に書架を購入した	今後も計画的に蔵書の整備、更新を行い資料の充実を図る。  引き続き予算要求をし、計画的に書架整備を図っていく	

第2章 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
4 学校	2 学校図書館の整備	2 司書教諭等研修会の充実を図る	① 学校図書館の充実のために、これまで同様に研修会を実施するとともに、研修会の内容については、更なる読書活動推進のために検討する	指導課	・司書教諭等と学校図書館支援員合同の研修会を、年間2回行った。 ・教科等の指導に即した図書館の活用について周知するとともに、情報交換の場を設けた。	司書教諭等と学校図書館支援員合同の研修会を、4月及び5月に行った。5月の研修会では、教科等の指導における学校図書館の活用について協議するとともに、情報交換の場を設けた。	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、司書教諭等の研修会は中止となった。各校の取組については、学校間共有フォルダ等を活用して、情報提供した。	今後はオンラインでの開催も視野に入れながら、継続して研修会を実施し、学校図書館教育の推進を図る。
					・学校図書館支援員研修会に参加し、助言・指導・連絡を行った。 8回 (内容例) 学校図書館と学校司書の仕事について 図書分類と配架について 授業に関連したミニ展示、ポップの作成 図書館活動アンケートを実施し「買って良かった！本」の展示会を実施	学校図書館支援員研修会に参加し、助言・指導・連絡をした。 (内容例) 学校図書館と学校司書の仕事について ・LS@schoolの効率の良い使い方 ・あっぴいぶつくるセット本の貸出方法	司書教諭研修会は実施できなかった。	学校図書館の充実のために、指導課と研修内容を協議し、司書教諭・学校図書館支援員への研修の支援を行う。
		3 アップスマイル学校図書館支援員の研修会などの充実を図る	① 学校図書館の充実のために、これまで同様に研修会を実施する ・研修会の内容については、子どもの読書活動支援センターと連携し、更なる読書活動推進を図る	指導課	・計画に基づき雇用時に3回、前期5回、後期4回の研修を実施し、各校の取組について共有しつなげた。 ・子どもの読書活動支援センター職員を講師として、効果的な研修を実施した。	計画に基づき前期7回、後期3回の研修を実施した。各校の取組について共有し、広めることができた。子どもの読書活動支援センター職員を講師として、効果的な研修を実施することができた。	緊急事態宣言下での研修会は、中止となったが、限られた研修会の中で、学校図書館支援員としての資質向上のための研修を行うことができた。	継続して研修会を計画し、効果的な取組の共有を図る。
					・学校図書館支援員研修会に参加し、助言・指導・連絡を行った。 8回 (内容例) 学校図書館と学校司書の仕事について 図書分類と配架について 授業に関連したミニ展示、ポップの作成 図書館活動アンケートを実施し「買って良かった！本」の展示会を実施	学校図書館支援員研修会に参加し、助言・指導・連絡をした。 (内容例) 学校図書館と学校司書の仕事について ・LS@schoolの効率の良い使い方 ・あっぴいぶつくるセット本の貸出方法	学校図書館支援員研修会を行った。 (内容例) ・図書分類と配架について ・ブックトークと読み聞かせ ・コロナ禍に挑戦したい 読書推進活動(グループワーク)等	学校図書館が充実のために、指導課と研修内容を協議し、司書教諭・学校図書館支援員への研修の支援を行う。
4 学校	2 学校図書館の整備	4 各小中学校の学校図書館の一層の充実を図り、読書活動を推進するため、支援員の増員に向けて検討を進める	① アップスマイル学校図書館支援員の増員の要望を行う	指導課	・支援員増員の要望を行った(結果、増員なし)。	毎年学校図書館支援員増員の要望を行っているが、増員は難しい。	支援員増員の要望を行ったが、増員はされなかった。	中学校の読書活動の推進のために、継続して増員を要望する。
		5 学校図書館の掲示・各コーナーの整備・充実を図る	① 司書教諭やアップスマイル学校図書館支援員が中心となり、学校図書館の掲示や新聞の活用、新刊や季節の本の展示コーナーなどの環境の整備・充実を図る	学校	・各校において、定期的に掲示や本の展示が行われ、児童生徒の興味を喚起した。 ・季節や行事に合わせたコーナー、教科書で紹介されている本に関するコーナーなどを特設するなど利用しやすい環境を整備した。	各校において、定期的に掲示や本の展示が行われ、児童生徒の興味を喚起することができた。季節や行事に合わせたコーナー、教科書で紹介されている本に関するコーナー、教師や児童生徒のおすすめ本コーナーなども特設され、利用しやすい環境に整備されている。	・各校において、定期的に掲示や本の展示が行われ、児童生徒の興味を喚起することができた。 ・今年度は、図書館での密を避けるために、各学年に応じた図書館本のセットをつくり、各学級へ回覧する取組等が行われた。	研修会等を通じて、実践事例を共有し、効果的な取組が各校で実施できるようにする。
		6 さらなる学校図書館の情報化を図る	① 市立図書館の蔵書検索が学校図書館管理システムで可能となるか検討する	教育総務課	・システム統合や蔵書検索の連携を検討した。	システム統合や蔵書検索の連携は難しい。	システム統合や蔵書検索の連携は難しい	上尾市Webサイト上の上尾市図書館蔵書検索の利用を図り、問題点を検討していく。
		7 長期休業中の学校図書館の開放・活用を図る	① 夏季休業日においては、全校で、開館日数を20日以上としており、取組内容を充実させることにより、さらに利用率を高める 冬季休業中においても学校の実情に合わせて、利用率を高める	学校	・夏季休業日の開館日数を15日以上とし、各校ごとに目標冊数を決めて、事前の貸出も含めて、児童生徒の利用を図った。	働き方改革の観点から、夏季休業日の開館日数の定めをなくし、各校の実態に応じて開館日数を設定するよう変更した。長期休業中の読書活動推進を図るため、休業前の貸出を重点的に行った。	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、長期休業中の学校図書館の開放や活用を控える学校が多かった。その代わり、長期休業前の貸出を重点的に行った。	長期休業前の貸出を工夫して実施することで、利用率の向上と家庭での読書活動の推進を図る。
	3 読書活動の取組	1 朝の読書をはじめとする一斉読書や読み聞かせを充実する	① 引き続き、全校一斉読書活動を実施する 中学校にも小学校での読み聞かせやブックトークなどを紹介し、取組を推進する	学校	・朝読書などの一斉読書を、各小・中学校で実施した。 ・一部中学校でも読み聞かせを行った。	朝読書などの一斉読書が、各小・中学校で実施されている。中学校でも読み聞かせを行っている学校がある。	朝読書などの一斉読書は、各小・中学校で実施した。	研修会等を通じて、実践事例を共有し、効果的な取組が各校で実施できるようにする。
		2 「子ども読書の日」に関わる取組の充実・周知を図る	① 引き続き、司書教諭やアップスマイル学校図書館支援員を中心に、研修会などでそれぞれの学校の取組を紹介しながら、取組を充実するとともに、保護者へ「子ども読書の日」を周知する		・継続して実施した。	ポスターの掲示、読み聞かせ、学校図書館利用ガイダンスなど、各校で工夫された取組が行われている。	今年度は、新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休業のため実施していない。	今後も継続し、読書活動の推進を図る。
		3 「学校応援団」・ボランティアの活用を図る	① 司書教諭等研修会を通じて、情報交換を行い、各校の実践に生かす		・読み聞かせや長期休業中の貸出ボランティアなどを活用した。	読み聞かせや長期休業中の貸出ボランティアなどの協力を得ることができた。	ボランティアの協力を得て、掲示物を作成するなどの学校図書館の環境整備を行うことができた。	地域の実態に合わせ、学校応援団やボランティアの活用を促す。
				・あっぴいぶつくるセット本の活用を継続して行った。	「あっぴいぶつくるセット本」の活用を継続して行うことができた。	「あっぴいぶつくるセット本」の活用を継続して行うことができた。	今後も継続して、事業の円滑な運用を促す。	

第2章 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
	4 あっぱいぶつくるセット本・団体貸出本の利用	1 図書館と市内小・中学校、市立幼稚園が協力して、市図書館所蔵の読み物セットをすべての小中学校・市立幼稚園に長期間一括貸出する「あっぱいぶつくるセット本」事業を行う	① 事業の円滑な運用を目指す	学校図書館	・あっぱいぶつくるセット本の活用を継続して行った。	「あっぱいぶつくるセット本」の活用を継続して行うことができた。	「あっぱいぶつくるセット本」の活用を継続して行うことができた。	今後も継続して事業の円滑な運用を促す。
				図書館（子どもの読書活動支援センター）	・えほんあっぱいぶつくる、あっぱいぶつくるセット本の発着を子どもの読書活動支援センターで管理し、学校の休校などの対応や本の管理など円滑にできた。 【実績】 えほんあっぱいぶつくるセット本の活用 幼稚園・保育所 80回 2,400冊 あっぱいぶつくるセット本の活用 小学校 84回 7,560冊 中学校 44回 1,320冊 合計 128回 8,880冊	・「えほんあっぱいぶつくる」「あっぱいぶつくるセット本」について学校の休校などの対応や本の管理などがある中、円滑に事業を行うことができた。 ・令和元年度えほんあっぱいぶつくるセット本の活用 幼稚園・保育所 80回 2,400冊 ・令和元年度あっぱいぶつくるセット本の活用 小学校 88回 7,920冊 中学校 44回 1,320冊 合計 132回 9,240冊	・令和2年度あっぱいぶつくるセット本の活用 小学校 88回 7,920冊 中学校 44回 1,320冊 合計 132回 9,240冊	「あっぱいぶつくる本セット本」については、小・中学校で定着し、好評を得ている。今後も引き続き、計画的に買い替えを行い、内容を新しくしながら、事業を円滑に行っていく。
			② 市立保育所で同事業を行うことを検討する	図書館活動支援	・えほんあっぱいぶつくるセット本を活用した。 【実績】 幼稚園・保育所 80回 2,400冊	令和元年度えほんあっぱいぶつくるセット本の活用 幼稚園・保育所 80回 2,400冊	令和2年度えほんあっぱいぶつくるセット本の活用 幼稚園・保育所 75回 2,250冊	平成29年度より「えほんあっぱいぶつくる本セット本」については、市立幼稚園・保育所では定着し、好評を得ている。計画的に買い替えを行い、内容を新しくしながら、事業を円滑に行っていく。
5 家庭・地域・学校をつなぐ取組	1 まちかど図書館	1 出張おはなし会や出張読書イベントの際に、関連する本を持っていきその場で貸し出しを行う	① 図書館にきたことがなかったり来られなかったりする子どもや保護者にもより身近な場所で図書館の機能を利用してもらおう	も図書館（子ども読書活動支援センター）	未実施	未実施	未実施	現システムでは、実施は難しいため、出張おはなし会や出張読書イベントの際に、関連する本を持っていきその場で貸し出しができるか検討をする。
				学校	図書館と連携し、セカンドブック事業として新1年生に読み聞かせを実施し「読書パスポート」の利用方法などの説明を子供を通じて行った。	「読書パスポート」は積極的に活用されている。	「読書パスポート」については取組が周知され、活用が定着している。	子どもの読書活動支援センターと連携し、今後も継続して活用を促していく。
		1 「読書パスポート」「えほんのきろく」を家庭で活用し、親子で本についての会話を広げる	① 活用方法について、保護者へ周知する	の図書館（子ども読書活動支援センター）	・読書パスポートの活用方法について、配布した子供たちを通じて保護者へ伝えるよう周知した。 ・未就学児にえほんのきろくを使用してもらい、親子で本を読む習慣の周知を行った。	引き続き、 ・読書パスポート配布時に子供たちに保護者と一緒に使って欲しいを話した。 ・未就学児「えほんのきろく」を使用してもらい、親子で本を読む習慣をつけてもらうような周知を行った。	・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、読書パスポート配布を直接子供に渡すことができなかった事や、「えほんのじかん」や「おはなし会」の開催ができず、「えほんのきろく」の配布や使用ができなかった例年に比べると保護者への周知の機会が少なかった。	「読書パスポート」「えほんのきろく」の活用方法について、保護者への周知がされているが、「読書パスポート」や「えほんのきろく」について動画での配信を検討する。
	学校			・「読書パスポート」を積極的に活用した。	「読書パスポート」は取組が周知され、活用が定着している。週末読書等を推進している学校があった。	「読書パスポート」は取組が周知され、活用が定着している。	研修会等を通じて、よい取組を共有していく。	
		2 「読書パスポート」「えほんのきろく」	② 「読書パスポート」「えほんのきろく」を通して、親子で本について、会話する時間をつくってもらおう工夫する	も図書館（子ども読書活動支援センター）	・「読書パスポート」の活用が定着し、親子で図書館にパスポートを持参し本を借りている。 ・おやこでえほんサロンなどの事業で活用についての説明を行った。	親子で「読書パスポート」での読書記録300冊をめざしている様子がある。300冊表彰に図書館に親子が見られた。	・「読書パスポート」の活用が定着し、親子で図書館にパスポートを持参し本を借りている様子が見られた為、家庭でも本について会話が広がられている。	「読書パスポート」「えほんのきろく」事業を継続し、PRすることで親子での本に対する関心を深めていく効果がある。
	児童館			・毎月発行する行事予定表に記載した。	毎月発行する行事予定表に記載している。	毎月発行する行事予定表に記載した。	引き続き、毎月発行する行事予定表に記載する。	
		2 「読書パスポート」「えほんのきろく」を地域で活用し、上尾の読書推進につとめ「読み聞かせのまちあげお」をつくる	① 活用方法について、地域へ周知する	も図書館（子ども読書活動支援センター）	・おやこでえほんサロン、おはなし会などの事業で、保護者に対し、読み聞かせボランティアなどから、読書パスポートの活用についての説明を行った	引き続き、読み聞かせボランティアの活動や児童館等を通して、地域への周知を図った。	読み聞かせボランティアの活動や児童館等を通して、地域への周知を図っていたが、新型コロナウイルス感染防止の為、おはなし会が中止になった為、地域での十分な周知の機会は、例年より少なかった。	「読書パスポート」「えほんのきろく」を地域での活用の周知はできている。これからは、継続する為に読み聞かせボランティアの活動、児童館を通して地域への周知を図る。
	読み聞かせボランティア			・おはなし会、えほんのじかんの時にえほんのきろくや読書パスポートにスタンプを押し、また、おはなし会などの行きたいと思えるように事業への参加意欲を高めた。	本館、分館、公民館図書室等で行われている「おはなし会」「えほんのじかん」の時に「えほんのきろく」や「読書パスポート」にスタンプを押し、また参加したい意欲を高めた。	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、おはなし会・おやこでえほんサロンなどが中止になったため、活動ができなかった。	新型コロナウイルス感染症の状況により、ボランティアと利用者の安全の確保の為、どのようにおはなし会などの開催するのかを図書館側と検討する。	
	児童文庫			【おひさま文庫】 ・読書パスポート、えほんのきろく共に利用し、えほんのきろくを持っていない子供には配布した。 【富士見団地自治会児童図書】 読書パスポート、えほんのきろく共に利用している子供はいない。	【おひさま文庫】 「読書パスポート」「えほんのきろく」共に利用し、「えほんのきろく」を持っていない子供には配布している 【富士見団地自治会児童図書】 「読書パスポート」「えほんのきろく」共に利用している子供はいない。	【おひさま文庫】 「読書パスポート」「えほんのきろく」共に利用し、「えほんのきろく」を持っていない子供には配布している 【富士見団地自治会児童図書】 児童の貸出はあるが、「読書パスポート」「えほんのきろく」共に利用している子供はいない。	自治会児童文庫は少人数の役員で運営している為、「読書パスポート」「えほんのきろく」の活用を地域に周知するには、難しい。	
	児童館			② 「読書パスポート」の中の「宝島スタンプラリー」にスタンプが押せる機会をたくさん用意する	・アッピーランドとこどもの城では青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・アッピーランドではおひさま文庫によるおはなし会を実施した。	・アッピーランドとこどもの城では、青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・アッピーランドでは、おひさま文庫によるおはなし会を実施した。	・こどもの城で青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・こどもの城で「読み語りの城」を実施した。	・引き続き、青少年育成推進員によるおはなし会を実施する。 ・引き続き、各児童館の事業としておはなし会を実施する。

第2章 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
5 家庭・地域・学校をつなぐ取組	2 「読書パスポート」・「えほんのきろく」	2 「読書パスポート」・「えほんのきろく」を地域で活用し、上尾の読書推進につとめ「読み聞かせのまちあげお」をつくる	② 「読書パスポート」の中の「宝島スタンプラリー」にスタンプが押せる機会をたくさん用意する	青少年課	未実施	未実施	未実施	・上尾市青少年育成推進員協議会が行っている読み聞かせの際、読書パスポートの持参を呼びかける。
				図書館（子どもの読書活動支援センター）	・学校や公民館等でたくさんの場所で、読み聞かせや講座を開き「宝島スタンプラリー」を活用できるようにした。	・学校や公民館等でたくさんの場所で、読み聞かせや講座を実施した。 ・原市公民館にて原市放課後子ども教室（火曜日クラス子供11人・木曜日クラス子供22人） 工作「ハロウィンの展示作成」 ハロウィンおはなし会 図書館まつり「しちょうさん えほんよんで」を開催 ・大石公民館にて大石放課後子ども教室 子供10人 工作「ハロウィンの展示作成」 ハロウィンおはなし会 を開催 ・「宝島スタンプラリー」を活用できるようにした。	・原市公民館にて原市放課後子ども教室（火曜日クラス子供10人・木曜日クラス子供15人） 工作「こんな公園あったらいいな」 絵本の読み聞かせおはなし会とパズル作成 ・大石公民館にて大石放課後子ども教室 子供7人 工作「こんな公園あったらいいな」 絵本の読み聞かせおはなし会とパズル作成 ・「宝島スタンプラリー」を活用できるようにした。	原市公民館や大石公民館での放課後子供教室で図書館資料を使った工作やおはなし会を行うことは、地域での「読書パスポート」の活用につながった。 他の地域でも「読書パスポート」を活用し、おはなし会やイベントを実施する。
				読み聞かせボランティア	・図書館や地域でのおはなし会の際にスタンプを押した。	引き続き、図書館や地域でのおはなし会の際にスタンプを押した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、おはなし会が中止になった。	引き続き、事業に協力する。
				児童文庫	・おはなし会の際にスタンプを押した。	おはなし会の際にはスタンプを押した。	おはなし会の際には「宝島スタンプラリー」にスタンプを押した。	引き続き、事業に協力する。
				児童館	・定期的に事業を開催した。	引き続き、定期的に事業を開催した。	定期的に事業を開催した。	引き続き、定期的に事業を開催する。
				青少年課	・青少年課が事務局を務める「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一つとして小学校や児童館で、大型紙芝居も使用した読み聞かせを開催してした。	青少年課が事務局を務める「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一環として、小学校や児童館で大型紙芝居も使用した読み聞かせを開催した。	青少年育成団体「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一環として、児童館で大型紙芝居も使用した読み聞かせを開催した。	引き続き、「上尾市青少年育成推進員協議会」による読み聞かせを実施する。
				図書館（子どもの読書活動支援センター）	・児童館、児童文庫には、読書パスポートに押すスタンプを配布し読み聞かせを行った。 ・児童館、児童文庫に「えほんのきろく」の配布を依頼した。	引き続き、 ・児童館、児童文庫には、「読書パスポート」に押すスタンプを配布し読み聞かせを行った。 ・児童館、児童文庫に「えほんのきろく」の配布を依頼した。	・児童館、児童文庫には、読書パスポートに押すスタンプを配布し、 ・児童館、児童文庫に「えほんのきろく」の配布を依頼した。	引き続き、児童館、児童文庫、青少年育成団体に協力していただき、「読書パスポート」「えほんのきろく」を地域で活用し、上尾の読書推進につとめる。
				児童文庫	・おはなし会の際にスタンプを押した。	おはなし会の際にはスタンプを押した。	・児童館、児童文庫に「えほんのきろく」の配布を依頼した。	引き続き、事業を実施する。
				児童館	未実施	未実施	未実施	児童館事業、来館者対応のため、児童館外への出張おはなし会の実施は難しい。

第2章 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
5 家庭・地域・学校をつなぐ取組	2 「読書パスポート」・「えほんのきろく」	2 「読書パスポート」・「えほんのきろく」を地域で活用し、上尾の読書推進につとめ「読み聞かせのまちあげお」をつくる	④ 読み聞かせボランティアの協力で地域で出張おはなし会を開催する	青少年課	・青少年課が事務局を務める「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一つとして、小学校や児童館で大型紙芝居も使用した読み聞かせを開催してした。	青少年課が事務局を務める「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一環として、小学校や児童館で大型紙芝居も使用した読み聞かせを開催した。	青少年育成団体「上尾市青少年育成推進員協議会」の活動の一環として、児童館で大型紙芝居も使用した読み聞かせを開催した。	引き続き、「上尾市青少年育成推進員協議会」による読み聞かせを実施する。
				図書館(子どもの読書活動支援センター)	・図書館・子どもの読書活動支援センターで行っている事業は、主に読み聞かせボランティアの協力で行った。	引き続き、図書館・子どもの読書活動支援センターで行っている事は、主に読み聞かせボランティアの協力で行われた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おはなし会などを行う機会が少なかった。	新型コロナウイルス感染症の状況により、ボランティアと利用者の安全を考慮しながら、おはなし会などをどのように開催するかについて、図書館側と検討をする。
				読み聞かせボランティア	・子どもの読書活動支援センターと協力して「まなつのこわいおはなし会」や「昔話のおはなし会」「おやこでえほんサロン」でおはなし会を行った。	子どもの読書活動支援センターと協力して「まなつのこわいおはなし会」や「昔話のおはなし会」「おやこでえほんサロン」でおはなし会を行った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、おはなし会を協力する機会が少なかった。	新型コロナウイルス感染症の状況により、ボランティアと利用者の安全を考慮しながら、おはなし会などの開催するのかを図書館側と検討をする。
				児童文庫	【おひさま文庫】 ・出前おはなし会（上平小、上平北小、原市小）	【おひさま文庫】 ・出前おはなし会（上平小、上平北小、原市小）	【おひさま文庫】 出前おはなし会 上平小、上平北小、原市小 9月より	引き続き、事業に協力する。
	3 「読書パスポート」を学校で活用し、学校での読書活動を活性化させる ・「読書パスポート」をとおして学校と図書館の連携を強化する	① 図書館、学校、アピースマイル学校図書館支援員、読み聞かせボランティアが連携して、「読書パスポート」配布おはなし会を市内全小学校で開催し、PRにつとめる	学校	・読書パスポートは取組が周知され、一部学校では活用が定着し、週末読書や家読等を推進した。	計画通り実施することができた。平成31年度は、学校図書館支援員研修で、本事業に関連した研修を行うことができた。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、学校と外部の関係機関が連携して実際に取り組むことが難しかったが、校内でできる取組を積極的に実施した。	今後も継続して事業の円滑な運用を促す。	
			学校図書館	・読書パスポート配布とおはなし会の実施については、計画通り実施した。 ・読書パスポートは、読書活動の推進に、効果的に活用された。	「読書パスポート」配布とおはなし会は計画通り実施できた。「読書パスポート」は、読書活動の推進に、効果的に活用された。	今年度は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、例年と同様の「読書パスポート」配布やお話会が実施できなかった。しかし学校再開後、「読書パスポート」を読書活動推進のために積極的に活用された。	今後も継続して事業の円滑な運用を促す。	
			図書館(子どもの読書活動支援センター)	・連携がスムーズにでき、読書パスポート配布おはなし会が開催できた。 ・読書パスポートの使い方が十分に理解され、学校での活用が進んだ。(1,825人に配布)	引き続き、連携がスムーズにでき、「読書パスポート」配布おはなし会が開催できた。 ・「読書パスポート」の使い方が十分に理解され、学校での活用が進んでいる。(新1年生 1,746人に配布)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「読書パスポート」配布のみ行った(新1年生 1,832人に配布)	「読書パスポート」の配布の仕方や説明を市の公式動画チャンネル「あげtube」で配信する。 ・学校にDVDを配布し、動画での配信を検討する。	
			読み聞かせボランティア	・読書パスポート配布時に、おはなし会を市内全小学校1年生に行った。 ・図書館のおはなし会を紹介し参加を呼びかけた。	「読書パスポート」配布時に、おはなし会を市内全小学校1年生に行うとともに、図書館のおはなし会を紹介し参加を呼びかけた。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「読書パスポート」は学校に配送した。 ・パスポート配布時のおはなし会は行わなかった。	引き続き、事業に協力する。	
			学校	・計画に基づいて実施した。 ・読み聞かせボランティアの活用について、各校ごとに地域の人材等も活用した。	計画に基づいて実施することができた。読み聞かせボランティアの活用について、各校ごとに地域の人材等も活用して行うことができた。	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年と同様の活動を行うことはできなかったが、できる範囲内で連携を図ることができた。	新たな連携の仕方を工夫しながら、今後も継続して事業の円滑な運用を促す。	
			学校図書館	・計画通り実施した。	計画通り実施できた。	今年度は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、例年と同様の活動を実施することができなかった。その代わりに感染症対策を講じながら、校内でできる範囲での読み聞かせを実施した。	今年度新たに実施したオンラインを活用した読み聞かせなどの活用を図っていきたい。	
			学校	・計画に基づいて実施した。 ・読み聞かせボランティアの活用について、各校ごとに地域の人材等も活用した。	計画に基づいて実施することができた。読み聞かせボランティアの活用について、各校ごとに地域の人材等も活用して行うことができた。	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年と同様の活動を行うことはできなかったが、できる範囲内で連携を図ることができた。	新たな連携の仕方を工夫しながら、今後も継続して事業の円滑な運用を促す。	
			学校図書館	・計画通り実施した。	計画通り実施できた。	今年度は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、例年と同様の活動を実施することができなかった。その代わりに感染症対策を講じながら、校内でできる範囲での読み聞かせを実施した。	今年度新たに実施したオンラインを活用した読み聞かせなどの活用を図っていきたい。	

第2章 読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
5 家庭・地域・学校をつなぐ取組	2 「読書パスポート」・「えほんのきろく」	3 「読書パスポート」を学校で活用し、学校での読書活動を活発化させる 「読書パスポート」をとおりて学校と図書館の連携を強化する	② 子どもの読書活動支援センターや読み聞かせボランティアによる学校への出張おはなし会の開催	図書館（子どもの読書活動支援センター）	・「上尾おはなしの会」によるおはなし会 6校 139クラス 3,899人 ・AYYレンジャー「サイエンスの杜ワンダーワンダー」による科学絵本の読み聞かせ・科学遊び 5校 469人	・「上尾おはなしの会」によるおはなし会 延べ7校 119クラス 3,245人 ・AYYレンジャー「サイエンスの杜ワンダーワンダー」による科学絵本の読み聞かせ・科学遊び 6校 370人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校へのおはなし会は開催できなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止へ対策を図り、ボランティアと子供の安全の確保しながら、どのようにおはなし会を開催するのか検討する。
				読み聞かせボランティア	・「上尾おはなしの会」によるおはなし会 6校 139クラス 3,899人 ・AYYレンジャー「サイエンスの杜ワンダーワンダー」による科学絵本の読み聞かせ・科学遊び 5校 469人	・「上尾おはなしの会」によるおはなし会 延べ7校 119クラス 3,245人 ・AYYレンジャー「サイエンスの杜ワンダーワンダー」による科学絵本の読み聞かせ・科学遊び 6校 370人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、読み聞かせボランティアの活動がなかった。	新型コロナウイルス感染症の状況により、ボランティアと利用者の安全を考慮しながら、おはなし会などをどのように開催するかについて、図書館側と検討をする。
			学校	・計画に基づいて実施した。	計画に基づいて実施することができた。	計画に基づいて実施することができた。	今後も継続して実施する。	
			学校図書館	・「読書パスポートコンクール」へ参加する	・「読書パスポートコンクール」を各学校に周知し、取組が行われた。	「読書パスポートコンクール」は各学校に周知され、取組が行われた。	「読書パスポートコンクール」については各学校に周知され、コロナ禍ではあったが、例年通り取組が行われた。全小学校から推薦された優秀な作品が表彰された。	今後も継続して事業の円滑な運用を促す。
			児童館	① 図書館・児童館・児童文庫などの読書イベントで未就学児に「えほんのきろく」を配布し、「ぶち宝島スタンプラリー」にスタンプを押す	・アップーランドとこどもの城では青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・アップーランドでは、おひさま文庫によるおはなし会、こどもの城では読み語りの城を実施した。	・アップーランドとこどもの城では、青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・アップーランドではおひさま文庫によるおはなし会、こどもの城では読み語りの城を実施した。	・こどもの城では青少年育成推進員によるおはなし会を実施した。 ・こどもの城では「読み語りの城」を実施した。	・引き続き、青少年育成推進員によるおはなし会を実施する。 ・引き続き、児童館の事業としておはなし会を実施する。
			図書館（子どもの読書活動支援センター）	① 図書館・児童館・児童文庫などの読書イベントで未就学児に「えほんのきろく」を配布し、「ぶち宝島スタンプラリー」にスタンプを押す	・読み聞かせや読書イベント等で、えほんのきろくを配布し活用を促した。 ・えほんであそぼ！を紹介し、保護者への啓発活動をした。 【実績】 えほんの記録配布数 1,000冊	読み聞かせや読書イベント等で、「えほんのきろく」を配布し活用を促した。また、「えほんであそぼ！」を紹介し、保護者への啓発活動をした。 「えほんの記録」配布数 1,000冊	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おはなし会は回数や人数を制限して行った。 ・「ちっちゃな個別おはなしかい」参加者 大人4人 子供5人 ・「青空おはなし会」参加者 大人28人 子供14人	幼い時期から読書に親しむ習慣をつける事につなげるためおはなし会やイベントを行い、「えほんのきろく」を活用する。
	読み聞かせボランティア	① 「えほんのきろく」を活用し、幼い時期から読書に親しむ習慣をつける	・読書イベントに協力し、スタンプを押印した。	・おはなし会の際には、スタンプを押印した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おはなし会などが中止になった。	新型コロナウイルス感染症の状況により、ボランティアと利用者の安全確保のため、おはなし会などをどのように開催するかについて、図書館側と検討をする。		
	児童文庫	① 「えほんのきろく」を活用し、幼い時期から読書に親しむ習慣をつける	・読書イベントに協力し、スタンプを押印した。	・おはなし会の際には、スタンプを押印した。	「えほんのきろく」を利用し、「えほんのきろく」を持っていない子供には配布をしている児童文庫がある。	できる範囲で事業に協力する。		
	児童館	② 図書館のおはなし会や地域のおはなし会で「えほんであそぼ！」の絵本を紹介する	未実施	未実施	未実施	絵本の紹介ができるか検討する。		
	図書館（子どもの読書活動支援センター）	② 図書館のおはなし会や地域のおはなし会で「えほんであそぼ！」の絵本を紹介する	・引き続き、おやこでえほんサロンで、冊子を配布し、よい絵本と出会う機会を作った。	引き続き、「おやこでえほんサロン」で、冊子を配布し、よい絵本と出会う機会を作った。	引き続き、「おやこでえほんサロン」や講座等で、「えほんであそぼ！」を配布し、よい絵本と出会う機会を作った。	絵本のリストを配布することによって、保護者がよい絵本を知ることができるため、継続していく。		

第3章 情報提供の充実

	取組	目標	施策	主体	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実施状況	実施状況	実施状況	今後の課題・方向性
1	各種パンフレット 「赤ちゃんといっしょに絵本をたのしもうブックスタートあげおー」「このえほんの楽しいよ!!」「よんでごらん」「おはなし会・えほんのじかん市内一覧」「こどもしつだより」「Next Generation」	子どもと本を結び付けるため図書館がおすすめする図書の情報を発信する	① ブックリストの内容を見直し新たな資料を加えたり内容を更新する	図書館	・こどもしつだよりなど過年度と重ならないようにテーマを決めるように努めた。 ・よんでごらんは毎年内容を更新し、発行した。 ・年4回Next Generationを発行した。新鮮な切り口のテーマで、幅広い分野から資料を集めるよう心掛けた。	・「こどもしつだより」など過年度と重ならないようにテーマを決めるように努めた。 ・「よんでごらん」は毎年内容を更新し、発行する。 ・年2回「Next Generation」を発行した。新鮮な切り口のテーマで、幅広い分野から資料を集めるよう心掛けた。	・「こどもしつだより」など過年度と重ならないようにテーマを決めるように努めた。 ・「よんでごらん」は毎年内容を更新し、発行する。 ・年3回「Next Generation」を発行した。新鮮な切り口のテーマで、幅広い分野から資料を集めるよう心掛けた。	・「こどもしつだより」「よんでごらん」については、毎回内容・テーマが重ならないよう、発行することができた。 ・「Next Generation」については、常に新鮮な切り口のテーマとし、幅広い分野から資料を収集していく。
2	市広報紙 「図書館へようこそ」のページの充実	「図書館へようこそ」のページの中でさまざまな情報を発信することで、図書館を中心に展開される活動への認知度を上げる	① 「図書館へようこそ」の中で紹介する子ども対象のイベントの告知を魅力的なものにする ・「子ども読書活動支援センター あっぴいぶっくる」のコーナーでは、特に子供対象のイベントやボランティア活動情報を掲載し、子どもを取り巻くさまざまな読書活動の状況を市民が把握しやすくする	図書館（子どもの読書活動支援センター）	・子ども読書活動支援センター あっぴいぶっくるのコーナーが市民に周知され、主催する講座の情報発信を行った。	「子ども読書活動支援センター あっぴいぶっくる」のコーナーが市民に周知され、主催する講座の情報発信を行った。	講座やイベント参加者のアンケートでは、『広報あげお』を見て、申し込みをされている市民が多い」との結果であった。	広報を見て講座に参加する人が多いため、イベントの情報やボランティア活動情報、子供を取り巻く読書活動の状況を紹介する。
3	図書館ホームページ 子どもの視点に立った図書館ホームページの充実	子どもが自ら閲覧、活用できるような仕組みを図書館ホームページ機能に追加することを検討する	① ・図書館ホームページの活性化のために、子ども自身が活用できる内容を充実させることにより、検索機能、調べ学習に対する対応など多様化する子どもの図書館の利用の仕方に対応する ・本市の郷土資料について自ら情報に触れるコンテンツを充実させることで郷土愛を育むきっかけとする	図書館（子どもの読書活動支援センター）	・引き続き、ホームページ内の「こどものページ」の活用を図った。	引き続き、ホームページ内の「こどものページ」の充実を図った。	・検討中。	児童担当、青少年担当、ホームページ担当と検討し、子供が利用しやすいホームページを構築する。
4	「読み聞かせのまちあげお 上尾市図書館」フェイスブック 「読み聞かせのまちあげお 上尾市図書館」フェイスブックの運用	より市民に身近な、地域からの情報を収集し、タイムリーに発信する	① 「(仮称)子ども読書活動推進連絡会」「(仮称)図書館・学校・学校図書館連絡会」「読み聞かせボランティア連絡会」などを通して情報収集に努める	図書館（子どもの読書活動支援センター）	・ボランティア連絡会以外の連絡会は未設置	・ボランティア会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館等についての情報を発信した。	・図書館の情報や地域の情報を迅速に発信していく。
5	「子どもの読書活動支援センター」ツイッター 「子どもの読書活動支援センター」ツイッターの運用	読書活動推進に有用な、魅力ある情報を提供する	① 支援センターの講座などを通し、魅力ある情報を親しみやすい文体で提供する	図書館（子どもの読書活動支援センター）	・ツイッターは、講座や本の情報をすぐに提供できる手段であり、多くの情報を発信した。 【実績】 フォロワー数 1,431人	ツイッターは、講座や本の情報を即時に提供できる手段である。 多くの情報を発信している。フォロワー数 1,467人	・ツイッターで「誰かに伝えませんか？友だち・家族へ手紙で伝えよう私の読書」の投稿作品を発信した。	講座などの情報に加え、読書に関したより身近な情報を発信していく。